



第28回

からいも フェスティバル

in おおづ

秋晴れ 大盛況！

11月13日に行われた「からいもフェスティバル in おおづ」28回目となるこのイベントは、来場者25,000人を記録し、パワーアップしてたくさんの人を楽しませました。

午前10時開始のこのイベント。しかし午前9時にはすでに人の波が。会場と駐車場を結ぶシャトルバスも満員状態で、降車して、からいも畑に向かう人、会場ステージへ向かう人、子ども相撲会場へ向かう人。それぞれに目的の場所へ歩いて行く列が見られました。
フェスティバル目玉のからいも掘り大会では、オーナーが

425区画、当日掘りは932区画でも掘りが行われました。来場者はスコップや軍手を手に、長靴を履いて来場し、今年は特に大きく育ったからいもを掘り出して子どもから大人まで、たくさんの方が喜びの声を上げていました。からいもの収穫量はオーナーが約15キログラム、当日掘りが約5キログラムと、お得に体験できる内容になっており、収穫したいものは、自宅に持って帰って食べるこ



ができます。大津町で採れるからいもは、貯蔵することで甘みが増すため、保存方法を「JAの甘藷部会に尋ねる姿も見られました。いも掘り体験に来た人は、「自分で掘ったからいもを食べるのが楽しみ。いも天にしようと思います！」と楽しそうに話していました。
からいもの啓発をおこなっている「からいもの館」では、食生活改善推進員のみなさんが作る恒例の「からいもだこ汁」や、今年考案された「からいもおじや」が大人気。からいもを題材にした絵手紙コンテストも作品が掲示され、まさにからいもづくしの会場でした。館では他にも体験コーナーとして、からいものつるで作るリースづくりや大津高校美術部の似顔絵コーナー、翔陽高校の物販など、地

域の学生も参加して楽しむ内容でした。
また、からいもフェスティバルには、たくさんの方ボランティア学生が参加しており、会場の運営をお手伝いしてくれていました。町内・町外のお客様のおもてなしに奮闘し、「ありがとう」の言葉かけに満ちた様子でした。
例年、つつじ祭りで開催されてきた子ども相撲は今年から、からいもフェスティバルで開催され、元気な小学生が強さを競いあいました。



今年も楽しいが
もりだくさん！